


はあ〜てい

vol.221
2015年1月号

益田市の
社協
だより

 この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



Goso Goso Club.comの皆さん
養護学校に通う生徒や卒業生が、地域の方と「ものづくり」を通して余暇活動を楽しむ集まりです。ハンディキャップの有無を問わずに、共に生きる社会をめざし活動しています。

迎春



あけましておめでとございます。皆様にはご家族お揃いで健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、益田市社会福祉協議会の事業活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

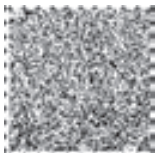
急速に進む少子高齢化と人口減少や、地域社会における人と人との絆の希薄化等により、高齢者独居、経済的生活困窮、児童虐待、子ども貧困等々、様々な生活・福祉課題が顕在化しています。失業や病气等により、誰もがいつ陥ってもおかしくない社会状況にあり、こうした課題解決のため、地域の福祉力を高めていく必要があります。

社会福祉協議会では、昨年9月から「入居債務保証支援事業」をスタートさせました。さらに、今年4月からは、生活保護受給に至る前に、生活困窮状態から早期の脱却に向け、対象者に寄り添い支援する「生活困窮者自立支援事業」をスタートさせますが、こういった生活課題への対応にあたっては地域の基盤づくりが大切であり、地域住民、行政、各関係機関との連携が一層必要となつてまいります。

『誰もが安全に安心してそのらしく心豊かに暮らすことができる地域社会』実現のため、役職員一丸となつて取り組んでまいりますので、引き続き皆様からの温かいご支援ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

今年もご家族とともどもに、ご健勝で幸多き年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

- | | | | |
|------|-------|------------|-------|
| 会長 | 齋藤 眸 | 理事 | 又賀 昭 |
| 副会長 | 石本 建二 | | 山崎 善行 |
| 常務理事 | 福原 正巳 | | 山本 尚 |
| 理事 | 石田 敏治 | | 吉村 浩司 |
| | 岩本のりこ | | 渡辺 隆 |
| | 大久保 稔 | 監事 | 吉川 富男 |
| | 佐々木文彦 | | 竹内 優機 |
| | 澄出 正義 | | 本井 宗明 |
| | 竹田 和夫 | 顧問 | 田中 稔 |
| | 田中 敦 | | |
| | 永本 鶴枝 | 評議員・職員一同 | |
| | 原 伸二 | (五十音順、敬称略) | |





福祉のまちづくりに向け 参画と協力を

益田市長 山本浩章

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、平成二十七年の新春を健やかに迎えのことに、心よりお慶び申し上げます。

益田市社会福祉協議会におかれましては、福祉活動における中核組織として、「人とのつながり」「地域とのつながり」を深めていくため、多くの団体の参加と協働のもとに、地区社会福祉協議会活動、ボランティア活動、福祉教育、高齢者・子育てサロン活動など、地域福祉活動を展開されていることに対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。

市と致しましては、高齢者や障がい者、子どもの分野の枠を超えて、地域における課題解決のため、地域住民、行政、社会福祉協議会、事業者、ボランティアなどが一体となり、ともに支えあい、助け合う福祉のまちづくりに向けて、社会福祉協議会と協働して、第二期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進を図って参りたいと考えております。

安心して暮らせるよう地域福祉を充実させていくためには、市民の皆様との積極的な参画と協力が欠かせません。

市の財政は厳しい状況にありますが、皆様の温かいご支援をいただき、福祉関係機関との一層の連携を図り、各種福祉施策を展開してまいりたいと考えております。

最後に、平成二十七年が、市民の皆様にとって、幸多き年となりますよう、心よりご祈念を申し上げます、年頭のごあいさつと致します。

団体紹介

匹見地域福祉委員会

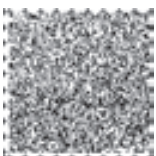
匹見地域福祉委員会は、匹見町内の各自治会より推薦された方で、現在57名で活動しています。主な活動としては、高齢者への声掛けや見守り活動、社協会費・共同募金事業への協力です。総会時には、福祉委員を対象とした研修会、また、年1回の町民を対象とした福祉講演会の開催や、歳末たすけあいバザーの協力もしています。



匹見地域福祉委員会講演会

11月29日(土)、もみじの里交流ホールで開催した講演会は、松ヶ丘病院の看護部長 榎本典子さんを講師に迎え、『認知症はこわくない』という演題で、クイズを交えながらわかりやすくお話ししていただきました。今、私たちができることは、認知症を病む人の理解であるということです。理解することで、接し方や対応の仕方の違い、また、ケアの際の心と体の距離も重要であるということがわかりました。

また、同時に歳末たすけあいバザーも開催し、この収益は、歳末たすけあい見舞金として益田市共同募金委員会に寄付しました。



助け合いはご近所で

～「支え合いマップづくり」による地域福祉活動の推進～

いま、住民による小地域での「マップづくり」が注目されています

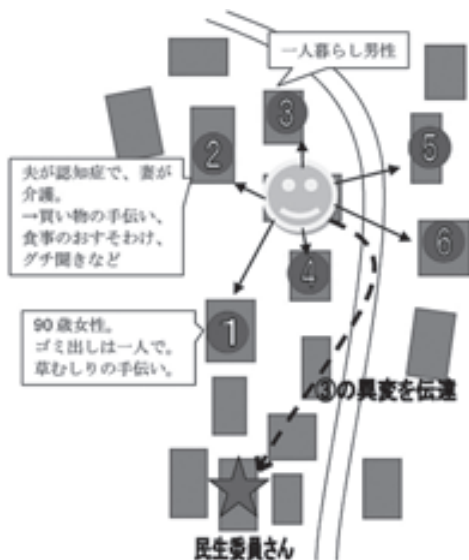
地域のつながりが薄れてきていることが重要視されている中、「自分の地域の問題を住民の支え合いで解決できる地域づくり」を目指す「支え合いマップづくり」が、近年全国各地で普及が進んでいます。

益田市社会福祉協議会では、平成21年から「支え合いマップづくり」による地域福祉活動を推進しています。平成24～25年度には、モデル自治会を5か所設け取り組んできました。

今後はモデル自治会での実績を踏まえて、自治会への「支え合いマップづくり」の普及を図っていきます。

①「支え合いマップづくり」とは

地域での日常的な支え合いづくりを目的に、地域住民が住宅地図を囲みながら、地域の現状を地図に書き込んでいく作業です。地域住民が集まり、どのような支え合いが行われているのかを書き込んでいくことで、地域福祉課題を抽出・共有して、課題の解決に結びつけていきます。



②「支え合いマップづくり」で調べること

- 支援が必要な人に誰が関わっているか？（どんな支援？）
- 近所で助け合いを仕切っている世話焼きさんはいますか？
- 支援を必要とする人は、身を守るために自分でどんな努力をしていますか？
- 皆さんが寄り集まる場所はどこですか？（○○さん宅、畑など）
- 近所にどんな生活課題がありますか？（高齢化、独居、買い物、交通手段など）

③取り組む上でのテーマ

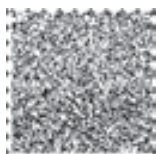
- 困っていることを、住民の助け合いにより解決できるように取り組む。
- 自治会内に福祉推進組織をつくる。
- 住民だけでは解決できない課題を、地区社協・市社協・行政などと連携して解決に結びつけるネットワークをつくる。

※次号では、モデル自治会での課題解決に向けた取り組みをいくつか紹介いたします。

※福祉出前講座として、説明やマップづくりができますので、お気軽にご相談ください。

2月に「支え合いマップづくり」の普及を目的とした、ふれあいネットワークまちづくり研修会の開催を予定しています。詳細は社協ホームページで近日お知らせいたします。

益田市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎22-7256



益田市戦没者合同

追悼式を開催しました

去る11月21日、「グラントワ」に於いて、ご遺族、来賓等約三百名のご参加をいただき、「戦没者合同追悼式」を厳粛にして盛大に執り行うことができました。

益田市と益田市社協の主催により、合同で開催するのは三年に一度で、その他の年は各地区で戦没者追悼式を行なっています。

益田市の戦没者の御霊は二六二五柱で、今日私達が享受している平和と繁栄の礎とされていることを忘れてはなりません。

式は、一分間の黙祷を捧げた後、益田市長、益田



市遺族会長、益田市議会議長より追悼のことばをいただき、来賓や遺族の代表による献花が行われ、戦争の犠牲となった方々に哀悼の意を表しました。

遺族の方は年々高齢化しておりますが、今後も平和の尊さを次の世代に伝え、悲しい歴史を二度と繰り返さないことを誓いました。

心のゆとり日 ～はつらつ介護者ふれあい支援サービス事業～

在宅で介護している方々は、日頃からの身体的・精神的に大きな悩みを抱えたり、必要な情報に接する機会も少なく、地域で孤立したり、多くのストレスを抱えたまま生活をしている方がおられます。

この事業は、在宅介護をしている方に、わずかな時間でも「介護」から開放され、参加者同士の親睦を深め、必要な情報交換等をする中で、心身のリフレッシュを図っていただくことを目的として行っています。



11月28日には、新しくできた住宅型有料老人ホーム「たまがわ七尾」と「ラウレアたまがわ」の見学や、社協職員による健康相談や介護相談など行いました。

地区社協情報

毎年恒例のバザー



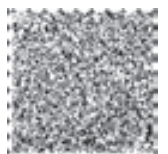
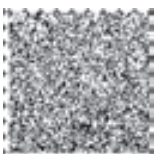
美濃地区社会福祉協議会

11月16日に美濃地区文化祭「美濃の里ふれあいまつり」で、当社協では「バザー」を出店しました。

地区の皆さんにちょっと早めの「年末大掃除」がてら、たんすの奥や納戸の「眠れる宝」を掘り起こしてもらい、ご提供していただきました。

そして今回は初の試みとして、「素敵なお部屋づくりのお手伝いを」と題し、「手作り小物」を募集しました。牛乳パックで作った花瓶、木製のお椀、熊手など、たくさん出品していただき、例年のバザーにない華やかさが加わり大好評でした。

バザーの収益金は、歳末たすけあい募金に寄付させていただきました。



個人情報の保護について

社会福祉法人益田市社会福祉協議会は、平成17年8月18日に制定した以下の方針に基づき、個人情報の保護に努めております。

- 1. 法令の遵守**
 本会は、個人情報保護に関する関係法令等に基づき、個人情報保護規程を定め、実施する事業において、個人情報を慎重に取扱います。
- 2. 適正な取得及び利用**
 本会は、個人情報を適法かつ適正な方法で取得します。
 また、個人情報の利用目的をできる限り特定するとともに、その利用目的の範囲でのみ個人情報を利用します。
- 3. 第三者への提供**
 本会は、あらかじめ明示した範囲及び法令等の規程に基づく場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供しません。
- 4. 適切な管理**
 本会は、個人情報を正確な状態に保つとともに、漏えい、滅失、き損などを防止するため、適切な措置を講じます。また、個人情報を保護するために適切な管理体制を講じ、役職員の意識啓発に努めます。
- 5. 開示・訂正等**
 本会は、本人から自己の個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止等の申し出があった場合には速やかに対応します。
- 6. 苦情への対応**
 本会は、個人情報の取扱いに関する苦情があったときは、適切かつ速やかに対応します。

福祉・介護の仕事 就職・転職フェア

参加無料 申込不要 入退場自由 服装自由

島根県内の福祉事業所の人材確保及び福祉職場に就職を希望する方への支援を目的に開催します。福祉の資格を活かして仕事がしたい、福祉の仕事に関心があって福祉の職場で働いてみたいという方、ぜひお気軽にご来場ください。

- 日時** 平成27年2月8日 12時30分～15時30分
- 会場** くにびきメッセ（松江市学園南1丁目2-1）
- 内容**
 - 福祉人材センターによる就職に関する相談・求職登録
 - ハローワーク・ナースセンターによる就職相談
 - 事業所による個別就職面談コーナーほか
- 問い合わせ** 島根県福祉人材センター
 ☎0852-32-5957

社協特別会員へのお礼

社協の特別会員として次の企業・団体のご賛同をいただきました。大変ありがとうございました。
 (12月5日現在、順不同・敬称略)

(有)中田自動車整備センター
 中村医院
 松谷商店
 西いわみ農業協同組合匹見支所
 榊の会
 齋藤建設(有)
 新光プロパン瓦斯(株)匹見販売所
 匹見峡温泉やすらぎの湯

善意の輪

(平成26年11月1日～平成26年11月30日) 敬称略

〔香典返し〕

- 濱岡 牧子 (小浜町) 金一封
- (敬) 反田 嘉久 (幸町) 金一封
- (敬) 横田 義一 (幸町) 金一封
- (敬) 大久保 束 (下本郷町) 金一封
- (敬) 吉村はる枝 (大阪府茨木市) 金一封
- (敬) 永本 隆子 (美都町都茂) 金一封
- 三浦 俊昭 (水分町) 金一封
- 齋藤 貢 (匹見町紙祖) 金一封

〔一般寄付〕

- 吉田地区民生委員OB会 一万円
- 福島 勉 金一封
- 美都町連合婦人会 金一封

皆様から寄せられました善意の寄付金は、ご意志に沿って、地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

誠にありがとうございます。

ふれあい福祉相談所のご案内 1月・2月の相談日

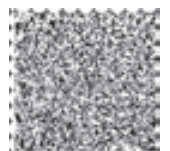
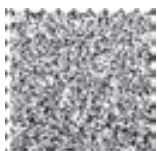
場所：益田市総合福祉センター

	無料法律相談 13:00～15:00 (要予約)	ふれあい福祉相談 10:00～15:00	老人母子相談 10:00～15:00
1月	9日(金)	9日(金)	9日(金)・23日(金)
2月	13日(金)	13日(金)	13日(金)・27日(金)

左記相談日以外でも専任相談員がお受けします。

問い合わせ
予 約

益田市社会福祉協議会 ☎22-7256
 (月～金 8:30～17:30)



「生活福祉資金貸付制度」のご案内

この貸付制度は、他の貸付制度が利用できない低所得者世帯、障がい者や高齢者のいる世帯に対し、民生委員や社会福祉協議会が相談に応じ、経済的安定や社会参加、在宅福祉の推進を目的としています。

●総合支援資金

失業などで日常生活に困難を抱えている方の生活の立て直しのための継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金の貸付により自立が見込まれる世帯への貸付資金です。

生活支援費	生活再建までの必要な生活費用 〈2人以上〉月20万円以内、〈単身〉月15万円以内
住宅入居費	敷金・礼金等住宅の賃貸契約に必要な費用 限度額：40万円以内
一時生活再建費	生活再建のための一時的な費用 限度額：60万円以内

●福祉資金

収入の少ない世帯、障がい者及び高齢者の世帯に対し、貸付により自立が見込まれる資金です。

●緊急小口資金

病気、事故及び火災などにより緊急的に生活費が必要なとき貸付ける資金です。

●不動産担保型生活資金

収入の少ない高齢者世帯に対し、一定の居住用不動産を担保に生活資金を貸付ける資金です。

●教育支援資金

◇ご利用いただける世帯◇

- ①日本学生支援機構、島根県育英会、母子寡婦福祉資金、日本政策金融公庫、市中銀行、その他資金の貸付、融通が受けられなかった方
 - ②現在他の資金の貸し付けを申請しているが、学費等納入期日までに決定が間に合わない方
 - ③他の資金が決定しているが、なお資金が必要な方
 - ④他の資金の貸し付けが決定しているが、その資金が貸与される前に必要となる資金の確保が困難である方
- ※なお、他の資金の申込みをしていない方については、本資金の貸付け決定後において他の資金の貸付けの申込みをしていただきます。

◇貸付限度額◇

教育支援費	高校	月3.5万円以内
	高専	月6万円以内
	短大	月6万円以内
	大学	月6.5万円以内
教育支度費	限度額	50万円以内

◇返済方法・期間◇

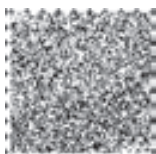
据え置き期間	卒業後6カ月以内
返済期間	20年以内
返済方法	月賦・半年賦・年賦償還

◇資金交付までの期間◇

申請からおおむね1カ月半から2カ月程度

お問い合わせ・借入れの相談・申込は…

- 現在お住まいの地区の民生委員、もしくは益田市社会福祉協議会（☎22-7256）にご相談ください。
- ※他の貸付制度が利用できる場合は対象となりません。
- ※所得制限があります。個人ではなく「世帯」が対象となります。
- ※貸付金額、貸付利子、返済期間などは資金の種類により異なります。



発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会 〒698-0036 益田市須子町3-1
 編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会 TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
 社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp
 「はあーてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索

